

令和 3 年 8 月 2 5 日

令和 3 年千葉市教育委員会会議第 8 回定例会

[議案書]

千葉市教育委員会

千葉市教育委員会会議第8回定例会議事日程

令和3年8月25日(水)
午後2時開会

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会期の決定
- 4 会議録の承認
- 5 議事日程の決定
- 6 非公開審議の決定
- 7 報告事項
 - (1) 学校教育活動等における新型コロナウイルス感染症対策について
..... 1
[総務課]
 - (2) 市制100周年記念 令和3年度子ども議会について
..... 3
[教育指導課]
- 8 議決事項
 - 議案第41号 陳情について
..... 5
[総務課]
 - 議案第42号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について【別添】
[企画課]
 - 議案第43号
 - 議案第44号
 - 議案第45号
 - 議案第46号
- 9 その他
- 10 閉 会

報告事項(1)

学校教育活動等における新型コロナウイルス感染症対策について

教育総務部総務課

1 夏季休業明けの対応

感染防止対策を徹底した上で、8月30日から学校教育活動を開始する。

(1) 感染防止対策の更なる徹底(家庭への協力依頼)

- ・手洗い、消毒、換気
- ・換気は30分ごとに1回
- ・体調変化への気づき

(2) 登校・出欠の扱い

- ・保護者から、感染が不安で欠席させたいという申し出があった場合は、学校長判断により「出席停止」とする。

2 学習指導・心のケア等の支援について

(1) 休校や学年・学級閉鎖等を余儀なくされた場合

- ・教科書、学習プリント、及びギガタブを活用したオンライン教材を組み合わせた家庭学習の実施
- ・グーグルミート等によるオンライン授業、児童生徒の健康観察等

(2) 登校できない児童生徒への対応

- ・従来どおり、学習プリントの活用等により、丁寧に学習保障を行う。
- ・電話やメールによる健康観察、学習相談。
- ・ギガタブを活用したオンライン指導。

(3) インターネット環境の整備

- ・インターネット環境が整備されていない家庭については、Wi-fiルーターの貸出しにより対応する。

3 リスクの高い学習活動、外部から人を招いての活動等について

(1) 「感染リスクが高い学習活動」として示されている、合唱、器楽演奏、調理実習等は、緊急事態宣言中は実施しない。

(2) 不特定多数が来校する行事は行わない。 ※学習参観、懇談会、保護者会等

4 学校部活動について

(1) 活動は週4日、平日・休日ともに90分程度

(2) 朝練習は実施しない。

5 宿泊学習について

県外への移動を伴う活動は行わないこととし、県内においても、延期等を視野に入れ検討する。

6 高等学校について

原則、県立学校と同様の取り扱いとする。

報告事項(2)

市制100周年記念 令和3年度「子ども議会」について

学校教育部教育指導課

1 目的

- 千葉市の将来を担う子どもたちが、千葉市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人がいきいきと幸せに暮らせるまちづくり」に向けた具体的な質問を行う中で、千葉市民としての意識を高める。
- 子どもの視点から生まれる疑問や質問を、生の声として市長・市政に届ける。
- 「子ども議会」の学習会や議会を通して、学ぶこと・働くことの意義や役割を理解したり、課題を発見・分析したりする力を育む。

2 日時 令和3年7月21日(水) 9:00~12:00

3 会場 千葉市議会本会議場

4 出席者

- (1) 子ども議会議員 45人(公募による市内小学生5・6年生)
ファシリテータ 市内中学生8人
- (2) 市政担当者
市長、鈴木副市長、川口副市長
こども未来局長
教育長、教育次長
- (3) 市議会議員
千葉市議会議長、副議長
教育未来委員長、教育未来副委員長

5 傍聴者

- (1) 教育委員 3人
- (2) 千葉市議会議員 7人

6 当日の日程

- (1) 千葉市議会議長挨拶
- (2) 子ども議会議長、議会運営委員紹介
- (3) 議会運営委員代表挨拶
- (4) 開会宣言
- (5) 出席者紹介、日程説明
- (6) 「みんなが住み続けたい千葉市にするために
～祝!100歳の千葉市にプレゼンテーション～」
【子ども議会議員による提案・質問及び答弁】
※子ども議会議員がテーマごとに7グループに分かれて提案・質問を行い、市長・副市長・教育長の答弁がありました。
- (7) 市長講評
- (8) 閉会宣言



第1回オンライン学習会 5/16



子ども議会当日のグループによる提案 7/21



7 グループの提案・質問の内容と答弁者

グループ	提案・質問の内容
① 安全・安心な街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代の人たちが交流できる場の設定や放置されている空き家の交流場所としての活用について ・「ちばチャリストイル」や交通安全に関する情報を多くの人たちに周知するための広報活動や道路の改修等について
② 衛生的で災害に強い街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル付きの街灯やトイレ、大人が利用できる器具の設置について ・避難者の受け入れの優先制度の整備と防災無線の外国語対応、及びそれらの周知について
③ きれいな街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、清掃活動の日を設定し、地域住民が楽しみながらゴミ拾いや草取りができるような取組について ・「きれいな街千葉市」の実現に向けて、子どもから大人まで関心をもってもらうためのPR活動について
④ 住みよい施設がある街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもからお年寄りまでが、楽しみながら、自然や環境を考えられるバリアフリーな海辺の複合施設について
⑤ ポイ捨てNoの街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市で月に1日「ごみ拾いの日」を設けることについて ・「ごみ拾いの日」を広く知ってもらうためのビーチクリーンイベントの開催について
⑥ 人と人がつながる街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉でつながる」子ども向け情報発信サイトの立ち上げについて
⑦ 歴史と文化を大切にした街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeを使って、千葉市の歴史や文化についていろいろな立場や視点から発信することで、魅力を伝える取組について ・史跡や魅力的な場所を循環バスでつなぎ、街を活性化させる取組について

議案第41号

陳情について

令和3年7月16日付けで受理した陳情第6号について、議決を求める。

令和3年8月25日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美



千葉市 教育委員会 教育長 様
教育委員様

教育委員会会議の無記名投票採決についての要望書

2021年7月14日

代表幹事

横浜市中区

E-mail :

FAX

電話

(担当

では、2020年11月に、都道府県及び政令市と、神奈川県内の全教育委員会を対象とした「教育委員会会議の採決方法等に関する調査」を行いました。貴教育委員会からもご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

その結果、調査対象であった2019年度及び2020年度10月末日までの期間について、無記名投票による採決を行っていたのは都道府県では7教育委員会、政令市では6教育委員会、神奈川県内では2教育委員会（政令市との重複1）あり、その案件は、全てが教科書採択でした。

無記名投票は、教育長、各教育委員の賛否が不明だけでなく、各自の賛否の記録が無いため、情報公開そのものが成立しません。審議の最終過程を永久に闇に葬り、万一不公正な判断が行われてもそれを検証することさえできない不明朗な採決方法です。調査では、無記名投票採決の実施理由も問いましたが、合理的な必要性は見いだせませんでした。

つきましては、「開かれた教育行政」を推進するため、以下の項目を要望します。

要望項目

- 1 教育委員会会議の採決は、非公開とすべき具体的な必要性がある場合を除き、傍聴者、市民に公開し、教育長、各教育委員がどのような意思表示をしたのかが明らかになる採決方法にしてください。
- 2 無記名投票は、教育長、各教育委員の判断の記録すら作成しないという極めて無責任な採決方法であるため、実施しないでください。

要望理由

(1) 教育長、各教育委員の意思表示が非公開となること

無記名投票方式をとると、投票が傍聴者の面前で行われたとしても、また、投票結果が公表されたとしても、各人の意思表示については公開されないこととなり、各人の意思がどのようなものであったかの事実確認さえ不可能となります。したがって無記名投票は、情報公開・会議公開の趣旨を全く無にする採決方法です。

教育長、教育委員が公職である以上、重要な職務である会議の採決における意思表示を明

らかにするのは、当然の責務です。無記名投票は、それぞれの責任を不明確にし、事実を闇に葬る極めて無責任な行為です。

2015年末から、教科書発行会社による検定中の教科書の閲覧や謝礼が問題になり、文科省が調査を行いました。13社が教員・校長ら5159人に検定中の教科書を見せ、そのうち4006人に謝礼などを渡していたとの報道がありました。中には教育長や教育委員も含まれていたとのことです。このような場合、たとえ採択結果に影響していなかったとしても、無記名投票をしていたのでは、事後の検証だけでなく、教育長・教育委員の身の潔白も立証することはできません。

(2) 無記名投票実施の理由が不明確であること

「地方教育行政の組織および運営に関する法律（以下「地教行法」）」は、「教育委員会の会議は、公開する。」とし、公開を原則とすることを定め、非公開にできるのは「人事に関する事件その他の事件」としています。公開が原則となっている教育委員会会議のなかで無記名投票、つまり非公開部分を生じさせる以上、了承した教育長・教育委員には実施の理由を市民に示すという説明責任が生じます

調査で無記名投票が行われた案件は、教科書採択の採決だけでした。その理由は、より自由な評決が可能になる、外部からの不当な圧力を避ける、静謐な環境を維持するなどでしたが、いずれも必然性を説明しうるものではありません。このような理由は、情報公開制度の開始直後の非公開理由に見られた内容であり、情報公開制度の進展のなかですでに克服されてきたはずです。

無記名投票実施は、例外措置としての非公開や記録の欠如の乱用であり、法規に反する不適正な行為といわざるをえません。

以上



陳 情 文 書 表

受理番号	陳情第6号	受理年月日	令和3年7月16日
件名	教育委員会会議の無記名投票採決についての要望		
要旨	<p>1 教育委員会会議の採決は、非公開とすべき具体的な必要性がある場合を除き、傍聴者、市民に公開し、教育長、各教育委員がどのような意思表示をしたのかが明らかになる採決方法にすること</p> <p>2 無記名投票は、教育長、各教育委員の判断の記録すら作成しないという極めて無責任な採決方法であるため、実施しないこと</p>		
陳情者 住所 氏名	<p>横浜市中区 [REDACTED] [REDACTED]</p> <p>[REDACTED]</p> <p>代表幹事 [REDACTED] 外4人</p>		

~~~~~

議 案 説 明

陳情について、千葉市教育委員会組織規則第8条第13号の規定に基づき、議決を求めるものであります。

議案第 4 2 号

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 6 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の結果に関する報告書について、次のとおり決定するものとする。

令和 3 年 8 月 2 5 日 提出

千葉市教育委員会教育長 磯 野 和 美

# 千葉市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和2年度対象)

～「第2次千葉市学校教育推進計画」及び

「第5次千葉市生涯学習推進計画」の進捗状況～

(案)

令和3年9月

千葉市教育委員会

千葉市教育委員会委員名簿

(令和3年8月現在)

|          |      |
|----------|------|
| 教育長      | 磯野和美 |
| 教育長職務代理者 | 小西朱見 |
| 委員       | 和田麻理 |
| 委員       | 藤川大祐 |
| 委員       | 竹田賢  |
| 委員       | 高津乙郎 |

## 目 次

|     |                                   |     |
|-----|-----------------------------------|-----|
| I   | 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要               | 1   |
| 1   | 教育委員会に関する事務の点検・評価について             | 1   |
| 2   | 千葉市教育委員会における当該点検・評価の実施方法等について     | 1   |
| II  | 教育委員会の活動状況                        | 3   |
| 1   | 教育委員会会議における活動                     | 3   |
| 2   | 学校現場等への視察や行事での講演等について             | 3   |
| 3   | 広報・広聴活動、意見交換会等について                | 4   |
| 4   | 総合教育会議について                        | 4   |
| III | 点検・評価の結果                          | 5   |
| 1   | 千葉市教育委員会による自己評価                   | 5   |
|     | (1) 学校教育                          | 5   |
|     | 【参考】中間見直しの概要                      | 6   |
|     | 施策展開の方向性1 確かな学力を育てる               | 7   |
|     | 施策展開の方向性2 豊かな人間性を育てる              | 16  |
|     | 施策展開の方向性3 健やかな体を育てる               | 26  |
|     | 施策展開の方向性4 子どもの学びを支える環境を整える        | 34  |
|     | 施策展開の方向性5 信頼される教職員が子どもと向き合う環境を整える | 41  |
|     | 施策展開の方向性6 多様な教育的支援の充実を図る          | 48  |
|     | 施策展開の方向性7 地域社会全体で子どもの成長を支える       | 60  |
|     | (2) 生涯学習                          | 64  |
|     | 【参考】中間見直しの概要                      | 65  |
|     | 施策展開の方向性1 学習活動のきっかけの提供            | 67  |
|     | 施策展開の方向性2 多様な学習機会の確保              | 76  |
|     | 施策展開の方向性3 学びを生かしたコミュニティづくり        | 87  |
| 2   | 評価委員による評価                         | 97  |
| 3   | 評価委員の意見に対する対応                     | 104 |

## I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

### 1 教育委員会に関する事務の点検・評価について

「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」といいます。）第26条「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検および評価等」に基づき、平成20年度から、教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」といいます。）を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、その結果に関する報告書を作成しています。

### 2 千葉市教育委員会における当該点検・評価の実施方法等について

#### (1) 目的

教育委員会の権限に属する事項について、点検・評価することにより、教育委員会が、自らの事務の適切な執行について確認するとともに、市民に対して、行政の説明責任を充実させ、教育行政に対する市民の信頼の向上を図ることを目的としています。

#### (2) 対象となる期間および事務

- ①対象期間は、令和2年度です。
- ②対象事務は、地教行法第21条に規定されている教育委員会が管理・執行する事務とします。

#### (3) 点検・評価の実施方法

- ①学校教育分野については、「第2次千葉市学校教育推進計画」に、生涯学習分野については、「第5次千葉市生涯学習推進計画」に基づき自己点検・評価を行っています。
- ②「第2次千葉市学校教育推進計画」及び「第5次千葉市生涯学習推進計画」（以下「両計画」といいます。）は、平成31年3月に中間見直しを行っているため、成果指標の達成状況やアクションプランの進捗状況は、見直し後の計画に基づき、自己点検・評価を行います。

#### (4) 学識経験を有する者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定により、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされているため、教育委員会事務局が行った自己評価による点検・評価の結果について、「千葉市教育委員会事務点検・評価委員」として、学校教育分野については小橋暁子氏に、生涯学習分野については岩崎久美子氏に所見等をいただきました。また、所見等をいただくにあたり、令和元年度の新規・拡充事業である以下の事業を重点的に評価する事業としました。

- ・学校教育分野…「専科指導のための非常勤講師の配置」、  
「スクールカウンセラー活用」
- ・生涯学習分野…「千葉市生涯学習センターの管理運営」、  
「千葉市立郷土博物館の管理運営」

##### ①小橋暁子氏

- 現職：千葉大学教育学部准教授
- 学歴：千葉大学教育学部卒業、千葉大学大学院教育学研究科修了、  
東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科修了・博士（教育学）
- 専門 造形教育学
  - ・主な研究課題 幼小の接続に焦点をあてた造形教育カリキュラムの研究

##### ②岩崎久美子氏

- 現職：放送大学教授  
(前国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)
- 学歴：上智大学文学部教育学科卒業、筑波大学大学院修士課程教育研究科修了  
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了 博士（学術）
- 専門 生涯学習
  - ・主な研究課題 生涯にわたるキャリア発達に関する研究  
成人学習の理論に関する研究

#### (5) 点検・評価の構成

施策ごとの構成は、次のようになっています。

- ① 施策の方針
- ② 成果指標
- ③ アクションプラン（個別具体の事業）

## Ⅱ 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会会議における活動（令和2年4月～令和3年3月）

以下のとおり教育委員会会議を開催し、議決等を行いました。

- ・開催回数 14回（定例会 12回 臨時会 2回）
- ・議決案件 99件
- ・報告案件 25件
- ・臨時代理報告 12件

### 2 学校現場等への視察や行事での講演等について

以下のとおり施設や行事の視察等を行い、事業の実施状況や、様々な課題について把握し、教育委員会会議における審議に生かしました。

#### （1）各種イベントへの出席

- ・千葉市科学フェスタ 2020
- ・SCIENCE CLUB ASSEMBLY（市内科学部の交流発表会）

#### （2）教員等の研究会や研修会への出席

- ・長期研修生（委託研修生）研究報告会

#### （3）その他

- ・教科書展示会
- ・教育功労者表彰式

上記のほか、教育委員による勉強会や、事務局からの個別の議案説明など、関連した業務・活動を行いました。

但し、例年、多数の学校行事、各種イベント、研修会、会議などに参加していますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの行事などが中止又は規模を縮小しての開催となったため、例年に比べ、教育委員が参加できる行事などが少なくなっています。

### 3 広報・広聴活動、意見交換会等について

以下のとおり教育委員会についての情報発信を行いました。

- ・教育委員メッセージ（市ホームページでの掲載）
- ・教育だよりへの記事掲載
- ・教員を目指す大学生と教育委員との意見交換会

### 4 総合教育会議について

市長と教育委員会の連携強化の観点から設置された「総合教育会議」では、本市の教育行政における以下の5つの重要課題について協議・調整を行いました。

- ①学びを保障するICT教育
- ②地域経済・地域産業を支える人材の育成・確保
- ③地域との連携、協働等を見据えた学校施設の有効活用
- ④オリンピック・パラリンピックを契機とした「まちづくり」「ひとづくり」
- ⑤千葉市における児童虐待対策

### Ⅲ 点検・評価の結果

#### 1 千葉市教育委員会による自己評価

##### (1) 学校教育

学校教育分野については、平成28年3月に策定した第2次千葉市学校教育推進計画に基づき、各種施策を進めています。なお、第2次千葉市学校教育推進計画は平成31年3月に中間見直し（P6参照）を行ったため、見直し後の計画に基づき、自己評価を行います。

##### 目指すべき子どもの姿

夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども

##### 目標

自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ

#### 「成果指標」における「達成状況」の記載について

各指標について、令和元年度末実績値の状況を3段階に分類します。

| 区分 | 説明（成果指標の達成状況基準）                                                                                     |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◎  | R2末実績値が最終目標値（R3末目標値）以上であるもの。                                                                        |
| ○  | 「R2末実績値とH27末現状値の差」が「最終目標値（R3末目標値）とH27末現状値の差」に対し80%以上であるもの。<br>※R2末実績値が最終目標値（R3末目標値）以上であるもの（区分◎）を除く。 |
| ×  | 「R2末実績値とH27末現状値の差」が「最終目標値（R3末目標値）とH27末現状値の差」に対し80%未満であるもの。                                          |

※数値データの出典などについては、各成果指標の右下に示しています。

※主観指標（P6参照）に区分した成果指標については、指標の名称に【主観指標】と表示しています。

#### 「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

各計画事業について、令和2年度末の状況を示します。

| 区分 | 説明（計画事業の進捗状況基準）                                                                                                         |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 達成 | R2末実績が最終目標（R3末目標）以上であるもの。                                                                                               |
| 順調 | 計画に対し、概ね計画通り進捗しているもの。<br>・定量的に事業量を測れる事業は、最終（R3末）事業量に対し8割以上進捗しているもの。<br>・その他の事業は、目標事業量からの遅延・乖離が生じていないもの。                 |
| 遅れ | 計画に対して事業進捗に遅れが出ているもの。「継続」で事業規模を縮小したもの。<br>・定量的に事業量を測れる事業は、最終（R3末）事業量に対し8割未満の進捗であるもの。<br>・その他の事業は、目標事業量からの遅延・乖離が生じているもの。 |
| 休止 | 事業を休止し、次年度以降に再び実施する予定のもの。                                                                                               |
| 中止 | 事業を中止し、今後も実施する予定のないもの。                                                                                                  |

【参考】中間見直しの概要

(1) 第2次千葉市学校教育推進計画策定後約3年間が経過したことを踏まえ、子どもを取り巻く社会状況の変化に対応し、実行力のある計画とするため、平成31年3月に計画の中間見直しを行い、成果指標及びアクションプランの変更・追加を行いました。主な変更内容は以下の通りです。

|   | 課題                                      | 変更内容                                                                                                                                             |
|---|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 第2次千葉市学校教育推進計画よりも新しい計画等と事業内容の整合が取れていない。 | 他の計画等に合わせ、目標値の変更及び取組み項目の追加をしました。                                                                                                                 |
| ② | 指標の現状値が把握できず、評価ができなくなっている。              | 現状値が把握できるよう指標項目を変更しました。なお、平成31年3月に見直しを行っているため、中間目標は設定していません。                                                                                     |
| ③ | 外部要因による影響が考慮されにくい評価となっている。              | 「客観指標※1」と「主観指標※2」に区分し、区分ごとに異なる評価を行うこととしました。なお、主観指標については目標値に対する達成率での評価はせず、分析・評価の結果は文章で示すこととしました。(本報告書では、主観指標に区分した成果指標については、指標の名称に【主観指標】と表示しています。) |

※1 客観指標

ある事象を客観的な数値で示したもので、統計調査等で数値を把握することができる指標。

(例)全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較

※2 主観指標

環境に対して人が抱く満足感、幸福感、安心感などの主観的な意識を数値で示したもので、アンケート調査によって数値を把握することができる指標。

(例)学校の勉強が好きだと思う児童生徒の割合

(2) 以下に該当する成果指標の「達成状況」欄は「-」で表記します。

| 成果指標                           | 理由                        |
|--------------------------------|---------------------------|
| 上記③による変更をしたもののうち、「主観指標」に区分したもの | 目標値に対する達成率での評価をしないこととしたため |

# 1 確かな学力を育てる

## 1-1 主体的に学ぶ力の向上

- 変化の激しい社会を生き抜く力の育成に向けて、一人ひとりに基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と学ぶ意欲の向上を図ります。
- 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や、主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせます。
- 自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究する学習を充実させるとともに、学習評価の工夫を図ります。
- 確かな学力を効果的に育成するため、言語活動の充実、グループ学習、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善により、協働型・双方向型の授業を推進します。

教育指導課、教育センター

| No.         | 指標                             | 項目 | 当初              | 目標            | 実績    |       |       |         |         | 達成状況    |
|-------------|--------------------------------|----|-----------------|---------------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|
|             |                                |    | H27末<br>(26年度末) | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末  | H30末  | R1末     | R2末     |         |
| 1           | 学校の勉強が好きだと思える児童生徒の割合<br>【主観指標】 | 小3 | 86.8%           | 88.0%         | 87.0% | 86.3% | 86.3% | 85.3%   | 85.4%   | —<br>※1 |
|             |                                | 小5 | 77.3%           | 80.0%         | 77.3% | 76.9% | 74.6% | 72.2%   | 73.8%   | —<br>※1 |
|             |                                | 中2 | 53.0%           | 56.0%         | 49.8% | 53.6% | 54.8% | —<br>※2 | 56.0%   | —<br>※1 |
| 千葉市学力状況調査   |                                |    |                 |               |       |       |       |         |         |         |
| 2           | 全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較     | 小6 | +1.8            | +2.5          | 0     | +1.0  | 0     | 0       | —<br>※2 | —       |
|             |                                | 中3 | +1.9            | +2.5          | +1.0  | 0     | 0     | 0       | —<br>※2 | —       |
| 全国学力・学習状況調査 |                                |    |                 |               |       |       |       |         |         |         |

※1 主観指標であるため、目標に対する達成率での評価は行いません。

※2 休校措置により「千葉市学力状況調査」、「全国学力・学習状況調査」を実施していないため、R1末実績値、R2末実績値は把握できません。

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                                                                                                                                   | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの学年も前回調査よりも肯定的意見が増加しています。ただし、学年が上がるにつれて数値が減少する傾向は変わりません。学習内容の高度化や量の増加に伴い、勉強に負担を感じる児童生徒が増えているのではないかと推察されます。</li> <li>・「学校の勉強が好きだ」の割合より「学校の勉強はよくわかる」の割合が上回っていることや、教科別意識調査から、教科によってその割合に高低差がみられることから、発達段階や教科等に応じた対応が必要です。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、一層魅力的な学校を創造していくことが重要であり、そのためにも「わかる授業、楽しい教室、夢広がる学校」の一層の実現を進めていく必要があります。</li> <li>・若年層教員の増加に伴い、教員の授業力、教師力、人間力の向上を図る研修を校内外で適切に進めること、学校への訪問指導をする際の指導助言の質的向上を図ること等が重要です。また、各校における学力向上アクションプランの評価と見直しを行い、授業改善が図れるよう情報提供や助言・啓発を図っていきます。</li> </ul> |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul>                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度までの分析データと指導改善の方向性やポイント等を示した授業改善の資料を研修会や学校訪問等で活用します。指導助言を行うことで、教員の指導力を一層高め、「わかる授業」を推進していきます。</li> </ul>                                                                                                                                    |

教育指導課、教育センター

| No. | 事業名              | 新規・拡充<br>項目・継続 | 当初                           | 目標                               | 実績                             |                                |                                |                          |                                                     |                    | 進捗<br>状況 |
|-----|------------------|----------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------|----------|
|     |                  |                | H27末                         | R3末<br>(最終目標)                    | H28末                           | H29末                           | H30末                           | R1末                      | R2末                                                 |                    |          |
| 1   | 「わかる授業」の推進       | 授業改善の推進        | 教科等主任研修会<br>研修講座             | 授業づくり講座<br>指導事例の集積               | 各種研修会・講座<br>学校訪問指導             | 各種研修会・講座<br>学校訪問指導             | 各種研修会・講座<br>学校訪問指導             | 各種研修会・講座<br>学校訪問指導       | 各種研修会・講座<br>学校訪問指導                                  | 各種研修会・講座<br>学校訪問指導 | 順調       |
| 2   | 学力状況調査の実施と活用     | データ活用の具現化      | 分析方法の見直し                     | 継続                               | 分析方法の見直しとアクションプランの推進           | 研究協力校でアクションプランを作成              | 各学校でアクションプラン作成                 | 各学校でアクションプランを実践          | 各学校でアクションプランを実践                                     | 順調                 |          |
| 3   | 指導資料の活用          | 継続             | 継続                           | 継続                               | 継続                             | 継続                             | 継続                             | 継続                       | 継続                                                  | 順調                 |          |
| 4   | 多様な外部人材を活用した学校支援 | 継続             | 継続                           | 継続                               | 継続                             | 継続                             | 継続                             | 継続                       | 継続                                                  | 順調                 |          |
| 5   | 情報活用能力の育成        | ICTを活用した教育活動   | タブレットPC・デジタル教科書の活用に関する研究     | 研修会の実施                           | 継続                             | 継続                             | プログラミング教育に関する研究及び研究成果の発信       | プログラミング教育に関する研究及び研究成果の発信 | プログラミング教育に関する研究及び研究成果の発信                            | 順調                 |          |
| 6   | 情報教育機器の整備・充実     | 小学校PC教室の端末刷新   | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校 | 全校<br>40台/校<br>(移動型端末)           | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校   | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校   | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校   | 110校<br>(学級人数最大値で配備)     | 110校<br>(学級人数最大値で配備)                                | 達成                 |          |
|     |                  | タブレットPCの整備     | モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | タブレット端末を小・中学校全校に配備(台数は学級数に応じて配備) | 継続モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | 継続モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | 継続モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | 全小中学校規模別に11台から80台        | 第2次CABINET用タブレット全小中学校規模別に11台から81台<br>1人1台タブレット全校に配備 | 達成                 |          |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                | 今後の取組等                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校計画訪問、要請訪問を通じて、各学校の課題を把握し、教科の指導に対する課題解決に取り組んでいます。</li> </ul>                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>計画訪問の回数増と要請訪問、現場研究員への取組等を含め、教員の資質向上に向けた支援を行っていきます。</li> </ul>                                                                                                                          |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県学力状況調査の分析結果を基に各学校が作成した「学力向上アクションプラン」を実践しています。アクションプランを校内で共通理解し、学校の課題を全教職員で改善すべく取り組んでいます。</li> </ul>                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学力向上アクションプラン」の実践を基に各学校が評価を行い、成果と課題を分析した上で、令和3年度に新たなアクションプランを作成し、実践します。</li> </ul>                                                                                                     |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の趣旨を反映させながら、初任・初期層から中堅層、後期層まで幅広い職員層が、市の教育施策の内容をより一層理解できるよう配慮し、日々の授業、経営実践の中で使いやすいものとなりました。</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の方向性、本市の児童生徒の実態と学校の実情を踏まえた、より具体的な課題を設定します。また、学校訪問や教科等主任ブロック研修会において周知の機会を多く設けていきます。</li> <li>初任・初期層教員にもわかりやすい構成、表現にします。</li> </ul>                                                |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「NPO ちば教育夢工房」に委託し、市内小中特別支援学校に、退職教員、教員を目指す学生、教育に関心のある市民を中心とした「学校支援員」を配置しました。各学校のニーズに応じたきめ細かな支援を行いました。</li> </ul>                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校に対し、一層積極的な活用を図ることを周知します。</li> </ul>                                                                                                                                                  |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校のプログラミング教育で利用する教材を配布し、教職員向けに実践方法などの研修（オンライン講座・出前講座など）を複数回実施しました。</li> </ul>                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度より中学校のプログラミング教育が開始されるため、中学校教員向けの専門講座を実施するほか、令和2年度に引き続き小学校教員向けの研修も実施していきます。</li> </ul>                                                                                             |
| 6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>第2次CABINETシステムの整備が完了し、小中学校への本格運用が始まりました。配備した第2次CABINET用のタブレットの台数は学校規模別になっています。</li> <li>GIGAスクール構想で小・中学校、特別支援学校（小・中学部）の全児童生徒・教員に、1人1台タブレットPCを整備しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校へ導入されたICT機器の利活用を促進するため、教職員研修の内容を充実させたり、回数を増やしたりしていきます。また、優良教材や活用事例などの情報を教育センターホームページなどを活用して積極的に発信していきます。</li> <li>ICT支援員を全校に巡回配置することで、児童生徒のICT機器の操作支援や教員のサポートなどを実施していきます。</li> </ul> |

## 1-2 未来へ飛躍する力の育成



- 価値観の多様化が進む社会において、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力の育成に向けて、教育内容の充実を図ります。
- グローバル社会において、日本や郷土の歴史・文化に対する理解とともに、言語や文化が異なる人々と互いに尊重し合い、主体的に協働していくことができるように、コミュニケーション能力や英語の語学力を育成します。
- 環境や平和などの世界規模の課題を自らのこととして捉え、地域活動など身近なところから取り組み、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、一人ひとりを育成する教育を推進します。
- 技術立国日本を支える理系人材の育成に向けて、理数好きな子どもを育てる教育の充実を図るとともに、意欲と能力のある子どもに対し、様々な学習機会や切磋琢磨する場を提供していきます。



教育指導課、教育改革推進課

| No.         | 指標                                   | 項目                | 当初    |               | 目標    |       | 実績      |         |         |          |
|-------------|--------------------------------------|-------------------|-------|---------------|-------|-------|---------|---------|---------|----------|
|             |                                      |                   | H27末  | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末  | H30末    | R1末     | R2末     | 達成<br>状況 |
| 3           | 自分の考えや意見を発表することが得意な児童生徒の割合<br>【主観指標】 | 小6                | 49.0% | 53.0%         | 48.2% | 48.2% | —<br>※1 | —<br>※1 | —<br>※1 | —<br>※2  |
|             |                                      | 中3                | 52.5% | 55.0%         | 50.8% | 51.0% | —<br>※1 | —<br>※1 | —<br>※1 | —<br>※2  |
| 全国学力・学習状況調査 |                                      |                   |       |               |       |       |         |         |         |          |
| 4           | 中学校卒業段階で実用英語技能検定3級相当以上の生徒の割合         | 中3                | 50.0% | 60.0%         | 46.6% | 47.2% | 46.8%   | 44.2%   | —<br>※3 | —        |
|             |                                      | 千葉県教育委員会教育改革推進課調べ |       |               |       |       |         |         |         |          |

- ※1 全国学力・学習状況調査の質問項目からの除外により H30 末～R2 末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。
- ※2 主観指標であるため、目標に対する達成率での評価は行いません。
- ※3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い文部科学省の調査が実施されなかったことから、R2 末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                                               | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現指標の設問が平成 30 年度以降、全国学力・学習状況調査の調査項目から除外されているため、達成状況を把握することができません。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを明確にして、情報を関連付けながら発表する力を育成する授業や探究型授業の充実を図る必要があると考えています。そのための授業改善の参考資料として全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた「授業改善のすすめ」を作成して提供するとともに、教師力の向上を図る研修を推奨していきます。</li> </ul> |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い文部科学省の調査が実施されなかったことから、R2 末実績値の把握ができなため、達成状況を確認できません。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の充実とコミュニケーションを図る資質・能力の育成のために、教員と ALT との円滑なチームティーチングを進め、授業の工夫改善に努めています。また、生徒と ALT が積極的にコミュニケーションする機会を通して、自分の考えや思いを表現する場面をさらに増やしていきます。</li> </ul>  |

教育改革推進課、教育指導課、生涯学習振興課

| No. | 事業名                                  | 新規・拡充<br>項目、継続        | 当初                                                 | 目標                         | 実績                   |                                    |                                    |                                    |                                                              |                                                              |    |
|-----|--------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------|----------------------------|----------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----|
|     |                                      |                       | H27末                                               | R3末<br>(最終目標)              | H28末                 | H29末                               | H30末                               | R1末                                | R2末                                                          | 進捗<br>状況                                                     |    |
| 1   | 郷土教育<br>の充実                          | 指導内容<br>の充実           | 社会科副<br>読本改訂<br>指導資料<br>改訂<br>千葉氏に<br>関する資<br>料の作成 | 授業の充<br>実                  | 継続                   | 継続                                 | 継続                                 | 継続                                 | 継続<br>指導事例<br>の紹介<br>社会科副<br>読本分冊<br>化<br>「千葉市<br>の海辺」<br>作成 | 継続<br>指導事例<br>の紹介<br>社会科副<br>読本分冊<br>化<br>「千葉市<br>の海辺」<br>作成 | 順調 |
| 2   | 異文化理<br>解の促進                         | 継続                    | 継続                                                 | 継続                         | 継続                   | 継続                                 | 継続                                 | 継続                                 | 継続                                                           | 継続                                                           | 順調 |
| 3   | 小学校英<br>語活動・英<br>語教育の<br>推進          | 英語活<br>動・英語<br>教育     | 5・6年生<br>実施                                        | 3・4年生<br>実施<br>5・6年生<br>実施 | 5・6年生<br>実施          | 5・6年生<br>実施                        | 3・4年生<br>実施<br>5・6年生<br>実施         | 3・4年生<br>実施<br>5・6年生<br>実施         | 3・4年生<br>実施<br>5・6年生<br>実施                                   | 順調                                                           |    |
|     |                                      | 外国語指<br>導助手の<br>配置拡充  | —                                                  | 50人                        | —                    | —                                  | 38人                                | 38人                                | 38人                                                          | 遅れ                                                           |    |
|     |                                      | 英語教育<br>支援員の<br>配置    | —                                                  | 12人                        | —                    | —                                  | 12人                                | 12人                                | 12人                                                          | 達成                                                           |    |
|     |                                      | 英語免許<br>保有者の<br>増員    | —                                                  | 175人                       | —                    | —                                  | 102人                               | 101人                               | 101人                                                         | 遅れ                                                           |    |
| 4   | グローバ<br>ル化に対応<br>した英語教<br>育の推進       | 外国人講<br>師の派遣          | 19人                                                | 22人                        | 19人                  | 19人                                | 19人                                | 19人                                | 19人                                                          | 順調                                                           |    |
| 5   | 市立高等<br>学校のグロ<br>ーバルスク<br>ール化の<br>推進 | SGH指定                 | 新規指定<br>申請準備                                       | 継続指定                       | 新規事業<br>申請に向<br>けた準備 | 新規事業<br>申請に向<br>けた準備               | 新規事業<br>に採択                        | 新規指定                               | 継続指定                                                         | 順調                                                           |    |
|     |                                      | 外国語補<br>助教員の<br>増員    | —                                                  | 3人                         | —                    | —                                  | 2人                                 | 3人                                 | 3人                                                           | 達成                                                           |    |
| 6   | 市立高等<br>学校の理<br>数教育の<br>充実           | SSH指定                 | SSH指<br>定                                          | 継続指定                       | SSH継<br>続指定          | SSH基礎<br>枠継続指<br>定、重<br>点枠新規<br>指定 | SSH基礎<br>枠継続指<br>定、重<br>点枠新規<br>指定 | SSH基礎<br>枠継続指<br>定、重<br>点枠新規<br>指定 | SSH基礎<br>枠継続指<br>定、<br>重点枠<br>新規指<br>定                       | 順調                                                           |    |
| 7   | 未来の科<br>学者育成<br>プログラム                | ジュニア<br>講座受講<br>者     | 50人                                                | 100人                       | 66人                  | 42人                                | 71人                                | 159人                               | 25人                                                          | 遅れ                                                           |    |
|     |                                      | ロボット工<br>学講座の<br>新規開設 | —                                                  | 年4講座                       | —                    | —                                  | 年2講座                               | 年3講座                               | 年2講座                                                         | 遅れ                                                           |    |
| 8   | 環境教育<br>の推進                          | 継続                    | 継続                                                 | 継続                         | 継続                   | 継続                                 | 継続                                 | 継続                                 | 継続                                                           | 順調                                                           |    |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                                                             | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の研修会等で、漫画「千葉常胤公ものがたり」の活用を呼びかけ、91校の小学校が「千葉氏」を授業で活用しました。継続して郷土教育の重要性を伝えていきます。</li> <li>・小学校3、4年生の指導内容に対応する地域素材を扱った副読本を編集作成し、配布しました。</li> <li>・授業で活用しやすい副読本「千葉市の海辺」を小学校5年生に配布しました。</li> <li>・社会科指導資料の改訂を行いました。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等で、地域素材を活用した単元構成の推進等の徹底、漫画「千葉常胤公ものがたり」の活用、加曽利貝塚・郷土博物館の利用などについて積極的な呼びかけを行っていきます。</li> <li>・「千葉市の海辺」の周知と活用推進を図ります。</li> <li>・郷土資料を取り入れ、改訂した「社会科指導資料」を周知、活用推進を図ります。</li> </ul>                                                                  |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため直接的な交流は難しい状況でしたが、文献やオンラインでの異文化理解を進めました。</li> </ul>                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育研究推進協議会に、大学の先生を講師として招聘するなど、教職員等への研修を進めていきます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                   |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手の人数の増減はありませんでしたが、各学年の授業は概ね予定通り実施できました。一方、打合せ時間の確保が課題となっているため、今後は人数の増員から勤務時間の拡充へとシフトチェンジしていきます。</li> <li>・英語教育支援員については、最終目標と同数を配置し、各担当校での指導・助言に当たりました。</li> <li>・英語免許保有者に関しては、10人が新たに免許を取得したものの、免許保有者が11人退職したため、1人減となりました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手は、打合せ時間の確保が課題となっているため、派遣時間拡充に向けて取組みを進めていきます。</li> <li>・英語教育支援員は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した活動や、高学年の評価などについて、重点的に指導・助言します。小学校教員の指導力が向上したので事業の見直しを検討します。</li> <li>・千葉大学などにおいて免許法認定講習が開催された場合、免許取得者からの受講スケジュールなどに関するアドバイスを添えて、案内・募集します。</li> </ul> |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化に対応した英語教育の推進は、コミュニケーション能力の育成と国際教育の推進に貢献しており、ライトポートや特別支援学校への訪問指導も実施していきます。また、本市の英語発表会に審査員として派遣できるよう対応を進めます。</li> </ul>                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）の資質を向上させるため、派遣会社と連携して研修や指導を積み重ねていきます。また、ALTは令和3年度から10名増員し、各学校におけるALTとの言語活動を更に充実させていきます。</li> </ul>                                                                                                                                  |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）の指定2年目として、運営指導委員会の指導を仰ぎながら、事業を推進しました。</li> <li>・千葉市内での探究活動等に取り組み、校内成果発表会を行いました。</li> <li>・グローバルな視点拡大のために、コンソーシアム構成機関の助力を得て、グローバル企業のセミナー受講及び訪問にも取り組みました。</li> <li>・令和元年度に外国語補助員を1名増員し、目標を達成しています。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成すべき「考え抜く力・協働する力・行動する力」をより明確にし、校内体制を充実させ、コンソーシアム構成機関の協力を得ながら探究活動の改善及び発展を目指します。</li> <li>・ディベートの授業、遠隔会議システム等を活用した国際交流等の事業については、更なる充実を図っていきます。</li> <li>・外国語補助教員を活用し、グローバル・リーダー育成を図ります。</li> </ul>                                               |

(表の続き)

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                            | 今後の取組み等                                                                                                                                                                 |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>第3期SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の4年目として、クロスカリキュラムや総合的な探究の時間における探究活動等に取り組み、成果をあげました。また、市内小・中・高の児童生徒対象の科学研究発表会や公開理科実験教室等により、SSHの研究成果を小中学校に広めるための取組を継続しています。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>育成すべき「課題発見能力・課題解決能力・自己表現能力」をより明確にし、これまでの取組をカリキュラム・マネジメントの視点から再構成するとともに、第1期指定以来の研究成果を小中学校により広めていくための取組に更に注力します。</li> </ul>        |
| 7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニア講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2講座のみ実施で延べ25人の参加となりましたが、電子申請によるスムーズな申込体制の確立や、一部の講座をオンラインで実施するなど、新たな取組を行いました。</li> <li>ロボット工学講座は、千葉大学・千葉工業大学の協力により4講座予定していましたが、2講座のみの実施で延べ49人の参加となりました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニア講座ではこれまでの小学校5、6年生対象の講座以外に小学校3、4年生対象の講座を増設します。また、電子申請システムによる受付を推進していきます。</li> <li>ロボット工学講座は、令和3年度は4講座を実施する予定です。</li> </ul>    |
| 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育に関する副読本を小学校に配布したり、市のホームページで資料を閲覧できるようにしたりして、各教科等と関連させて環境学習を進めました。また、環境学習モデル校を指定し、作物を育てたり、グリーンカーテンを設置したりするなどの取組の成果をまとめ、市内小中学校で共有しました。</li> </ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も環境教育に関する副読本を小学校に配布したり、市のホームページで資料を閲覧できるようにしたりして、各教科や教育活動と関連させて環境学習を進めていきます。環境学習モデル校の取組の成果をまとめ、今後の各校の教育活動に生かしていきます。</li> </ul> |

## 2 豊かな人間性を育てる

### 2-1 豊かな心の育成

- ▶ 他者、社会、自然・環境と関わり、自らを律しつつともに生きる力、主体的に判断し、適切に行動する力、弱い立場の人間を支える力などを持つ子どもの育成に向けて、道徳教育を中心とした取組みを推進します。
- ▶ 自然を大切にできる心や他人を思いやる優しさ、自己有用感や規範意識などを高め、社会性を備えた豊かな心をはぐくむために、学校内外での様々な体験活動やボランティア活動を進めます。
- ▶ 豊かな情操をはぐくむために、読書活動のさらなる充実を図るとともに、文化芸術やスポーツなどの魅力に触れる機会を創出します。
- ▶ 多様な価値観・生き方が存在する成熟社会において、規範意識や公共の精神を前提とし、多様性を受容しながら相互に学び合い、支えあい、高め合うことのできる心を培います。

#### 教育指導課

| No.         | 指標                                     | 項目 | 当初               | 目標            | 実績    |       |       |         |         | 達成状況    |
|-------------|----------------------------------------|----|------------------|---------------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|
|             |                                        |    | H27末             | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末  | H30末  | R1末     | R2末     |         |
| 5           | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合【主観指標】 | 小6 | —                | —             | —     | —     | 95.9% | 96.6%   | —<br>※1 | —<br>※2 |
|             |                                        | 中3 | —                | —             | —     | —     | 93.8% | 94.3%   | —<br>※1 | —<br>※2 |
| 全国学力・学習状況調査 |                                        |    |                  |               |       |       |       |         |         |         |
| 6           | 人の役に立つ人間になりたいと強く思う児童生徒の割合【主観指標】        | 小6 | 71.1%            | 80.0%         | 70.8% | 67.5% | 72.0% | 73.8%   | —<br>※1 | —<br>※2 |
|             |                                        | 中3 | 72.4%            | 80.0%         | 67.1% | 65.4% | 68.9% | 69.8%   | —<br>※1 | —<br>※2 |
| 全国学力・学習状況調査 |                                        |    |                  |               |       |       |       |         |         |         |
| 7           | 読書習慣のある児童生徒の割合                         | 小3 | 49.5%<br>(26年度末) | 55.0%         | 53.0% | 50.4% | 49.4% | 48.7%   | 50.4%   | ×       |
|             |                                        | 小5 | 45.1%<br>(26年度末) | 52.5%         | 45.9% | 48.1% | 44.0% | 44.1%   | 46.0%   | ×       |
|             |                                        | 中2 | 46.7%<br>(26年度末) | 52.5%         | 44.4% | 44.5% | 43.0% | —<br>※1 | 44.2%   | ×       |
| 千葉県学力状況調査   |                                        |    |                  |               |       |       |       |         |         |         |

※1 休校措置等により「全国学力・学習状況調査」、「千葉県学力状況調査」を実施していないため、R1末実績値、R2末実績値は把握できません。

※2 主観指標であるため、目標に対する達成率では評価しません。また、成果指標No.5については、中間見直しにより指標を変更した項目であるため最終目標は設定されていません。

| No | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                          |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、道徳教育を核とした教育活動や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用、スクールのマネジメントサポーターなどの教育相談活動を充実させることにより、児童生徒に対する理解の促進を図ります。</li> </ul>                                     |
| 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「生活科」や「総合的な学習の時間」等に注力することで、様々な体験活動を通して他人に対する思いやりや自己有用感を育んでいきます。</li> </ul>                                                                          |
| 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書習慣のある児童生徒の割合（1週間に1時間以上読書をしている児童生徒の割合）は、小・中学校共に上昇しています。</li> <li>・一方で、2週間に読んだ平均読書冊数は減少しています。読書時間は確保できているものの、読書冊数に関しては減少しているという結果の理由の一つに、各学校の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、読書の際に自由に本を手に取り次々に読むという自由読書の方法から、手に取る本の冊数を制限している現状が伺えます。</li> <li>・引き続き学校図書館指導員の読書指導やボランティアによる読み聞かせ等を行い、学校図書館の充実等を積極的に推進していきます。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館主任を対象とした読書活動の推進についての研修を行います。研修を踏まえ各学校で「魅力ある学校図書館運営計画」を立て、教科との関連や公共図書館との連携、蔵書管理、施設・設備の整備など、学校図書館の充実を図ります。また、引き続き、6月下旬から12月まで読書量調査を行う予定です。</li> </ul> |

教育改革推進課、教育指導課、保健体育課、企画課

| No. | 事業名                                | 新規・補充<br>項目 継続                               | 当初                          |                             | 目標                                                                                       |                                                                                          | 実績                                                                                       |                                                                                         |                                                                                         |    | 進捗<br>状況 |
|-----|------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----|----------|
|     |                                    |                                              | H27末                        | R3末                         | H28末                                                                                     | H29末                                                                                     | H30末                                                                                     | R1末                                                                                     | R2末                                                                                     |    |          |
| 1   | 道徳教育<br>の充実                        | 「道徳の<br>授業」の<br>充実                           | 副読本の<br>活用<br>評価方法<br>の検討   | 学習指導<br>要領の改<br>訂に合わ<br>せ実施 | ・研究指定<br>校(小学<br>校)による<br>先行実施<br>・評価方法<br>の検討及<br>び各学校<br>への通知<br>・「千葉市<br>に生きる」<br>の改訂 | ・研究指定<br>校(小・中)<br>による先<br>行実施<br>・評価方法<br>の検討及<br>び各学校<br>への通知<br>・「千葉市<br>に生きる」<br>の改訂 | ・研究指定<br>校(中学<br>校)による<br>先行実施<br>・評価方法<br>の検討及<br>び各学校<br>への通知<br>・「千葉市<br>に生きる」<br>の改訂 | ・研究指定<br>校(小中学<br>校)による<br>実施<br>・評価方法<br>の検討及<br>び各学校<br>への通知<br>・「千葉市<br>に生きる」<br>の改訂 | ・研究指定<br>校(小中学<br>校)による<br>実施<br>・評価方法<br>の検討及<br>び各学校<br>への通知<br>・「千葉市<br>に生きる」<br>の改訂 | 順調 |          |
| 2   | 学校図書<br>館の充実                       | 蔵書の充<br>実<br>(学校図<br>書館標準<br>未達成校<br>の改善)    | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>85.8% | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>93.0% | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>89.3%                                                              | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>92.9%                                                              | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>91.1%                                                              | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>90.3%                                                             | 未達成校<br>の平均蔵<br>書率<br>93.0%                                                             | 遅れ |          |
| 3   | 学校図書<br>館指導員<br>による読<br>書活動の<br>推進 | 継続                                           | 継続                          | 継続                          | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                      | 継続                                                                                      | 順調 |          |
| 4   | 学校部活<br>動の活性<br>化                  | 継続                                           | 継続                          | 継続                          | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                      | 継続                                                                                      | 順調 |          |
| 5   | 音楽、図<br>画工作、<br>美術の充<br>実          | 継続                                           | 継続                          | 継続                          | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                      | 継続                                                                                      | 順調 |          |
| 6   | ボランテ<br>ィア教育<br>の推進                | 継続                                           | 継続                          | 継続                          | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                       | 継続                                                                                      | 継続                                                                                      | 順調 |          |
| 7   | オリパラ<br>教育の推<br>進                  | パラス<br>ポーツ<br>授業の<br>実施                      | —                           | 166校<br>(全小・<br>中学校で<br>実施) | —                                                                                        | 12校                                                                                      | 166校<br>(全小・<br>中学校で<br>実施)                                                              | 166校<br>(全小・<br>中学校で<br>実施)                                                             | 165校<br>(全小・<br>中学校で<br>実施)                                                             | 達成 |          |
|     |                                    | 小学校陸<br>上大会に<br>おけるパ<br>ラアスリ<br>ートによ<br>る講演等 | —                           | 継続・発<br>展事業の<br>検討          | —                                                                                        | —                                                                                        | パラアス<br>リート2名<br>による講<br>演等実施                                                            | パラアス<br>リート3名<br>による講<br>演等実施                                                           | パラアス<br>リートに<br>よるピデ<br>オメッセ<br>ージ配布                                                    | 順調 |          |
|     |                                    | パラス<br>ポーツ<br>の試合<br>観戦                      | —                           | 継続・発<br>展事業の<br>検討          | —                                                                                        | 16校/年                                                                                    | 40校/年                                                                                    | 79校/年                                                                                   | —                                                                                       | 休止 |          |
|     |                                    | 道徳用<br>教材の<br>作成                             | —                           | 活用：小<br>中学校全<br>学年          | —                                                                                        | 作成<br>小学校<br>3・4年生<br>活用<br>小学校<br>1・2年生                                                 | 作成<br>小学校<br>5・6年<br>生<br>活用<br>小学校<br>3・4年生                                             | 作成<br>中学校<br>1年生<br>活用<br>小学校<br>5・6年生                                                  | 作成<br>中学校<br>2年生<br>活用<br>中学校<br>1年生                                                    | 順調 |          |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の知っている千葉市の「もの、人、こと」を取り上げた郷土教材「千葉市に生きる」で学ぶことを通して、千葉市のよさを再確認することができました。また、その改訂作業においては、本市の特色を生かした題材を活用した編集に努め、児童生徒にとっても教員にとっても魅力的な授業をするための教材となりました。</li> <li>・さらに、教員研修においても、教材に応じた多様な指導方法を工夫するとともに、道徳科の授業だけではなく、他の教育活動と関連づける道徳教育の充実を図りました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の全面実施となり、児童生徒が主体的に考え、議論できるような教材を選択したり、指導方法を工夫したりして、授業改善を図る必要があります。</li> <li>・道徳科の教科書の使用に伴い、他の教材も吟味するとともに、児童生徒の学習の評価の在り方を考えていきます。</li> <li>・文部科学省からの伝達事項を確実に周知したり、研究指定校の成果報告をしたりするなどして、指導力の向上を図ります。</li> </ul> |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書標準達成100%を超える学校数は2校増え、110%を超える学校数は、令和元年度に比べ小・中学校合わせて4校増えています。</li> <li>・未達成校において、蔵書率の割合は令和元年度に比べ若干低くなっています。今後も計画的な廃棄を進めながら、蔵書数の拡充を図っていきます。</li> </ul>                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、前年度と同額の前算を確保し、「図書保有率」等を勘案して学校図書購入費を配付します。</li> <li>・6月に各学校において学校図書運営計画を立て、蔵書、施設・設備等の整備を行い、学校図書館の充実を図ります。</li> </ul>                                                                                           |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館指導員が、情報交換をし、学び合うことにより、意欲や専門的な知識・技能の向上が見られました。学校図書館指導員と連携した授業も行われました。</li> </ul>                                                                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の学校図書館指導員の効果的な配置について、小学校とのバランスを考慮しながら検討していきます。</li> <li>・研修については、引き続き年4回実施し、指導力の向上を目指します。</li> </ul>                                                                                                              |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な指導力を備えた部活動指導員を26校に対して31人、同じく民間指導者を26校に対して46人派遣しました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員の配置及び民間指導者の派遣を拡充し、部活動のさらなる活性化を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                 |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの劇団のミュージカルや芸術家の作品鑑賞、実際の体験を通して児童生徒の情操が育まれていることが鑑賞後の感想文や作品等から伺えました。</li> </ul>                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や美術を愛好する心情を育むため、引き続き、本物の芸術に触れる場や、作品を発表・展示する会の充実を図ります。</li> <li>・生活や社会を意識した活動に取り組めるよう、身の回りの事象に着目させ、音楽、造形の表現や鑑賞に親しむ機会を設けます。”</li> </ul>                                                                              |
| 6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度より「ボランティア活動推進協力校」として、毎年各区1校ずつ計6校が3年間の千葉市社会福祉協議会の指定を受け、ボランティア活動を推進しています。令和2年度は市内36校が学校や地域の特性に合わせたボランティア教育を展開しました。</li> </ul>                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボランティア活動推進協力校」によるボランティア活動や成果発表の機会を設けることで、市内全体のボランティア活動の充実を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                          |

(表の続き)

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育・保健体育の授業において、すべての小学校でゴールボール及びシッティングバレーボールを、すべての中学校でシッティングバレーボールを実施しました。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う小学校陸上大会の実施方法の変更により、パラアスリートを招いての講演ができなかったため、パラアスリートから児童生徒に向けたビデオメッセージを配布しました。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、パラスポーツの試合が中止または無観客となったため、観戦できませんでした。</li> <li>・ 本市の特色を生かした先人の伝記、自然と文化、スポーツなどの児童が感動を覚えるような本市独自の道徳教育用教材「千葉市に生きる」と指導案集を作成し、全ての小・中学校に配付しました。</li> <li>・ 千葉市が東京 2020 パラリンピック 4 競技の会場になることから、平成 28 年度からパラリンピックに関する教材を入れ、共生社会実現や多様性理解を推進しています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の安全に配慮しながら、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催後もレガシーとしてオリパラ教育を継続します。</li> <li>・ 学識経験者、学校長、教員を構成員とする道徳教育用教材作成委員会を設置し、令和 3 年度は、パラリンピックに関する教材を含む中学校 3 年生用教材を作成します。</li> </ul> |

## 2-2 社会的自立に向けた強い心の育成

- 将来の夢や目標に向かって積極的にチャレンジする精神や、強い意志を持ってものごとを最後までやり遂げる力を培うために、体験活動の充実を図ります。
- 自己の進路・将来を主体的に考えることができる力を育成する指導の充実を図るとともに、社会的・職業的自立を目指し、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を促す教育活動の充実を図ります。
- 社会の形成者たる主権者として、社会で自立するための基礎的な能力や態度の育成に資する取組みを推進し、社会参画意識や公共の精神などをはぐくみます。

### 教育指導課

| No. | 指標                                         | 項目          | 当初    | 目標            | 実績    |       |       |         |         |          |
|-----|--------------------------------------------|-------------|-------|---------------|-------|-------|-------|---------|---------|----------|
|     |                                            |             | H27末  | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末  | H30末  | R1末     | R2末     | 達成<br>状況 |
| 8   | 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合【主観指標】                 | 小6          | 87.3% | 90.0%         | 85.9% | 85.4% | 84.1% | 84.7%   | —<br>※1 | —<br>※2  |
|     |                                            | 中3          | 71.3% | 78.0%         | 69.3% | 68.9% | 71.3% | 70.0%   | —<br>※1 | —<br>※2  |
|     |                                            | 全国学力・学習状況調査 |       |               |       |       |       |         |         |          |
| 9   | 色々なことに挑戦している児童生徒の割合【主観指標】                  | 小3          | —     | —             | —     | —     | 83.6% | 82.9%   | 82.7%   | —<br>※2  |
|     |                                            | 小5          | —     | —             | —     | —     | 75.9% | 75.3%   | 74.5%   | —<br>※2  |
|     |                                            | 中2          | —     | —             | —     | —     | 73.0% | —<br>※1 | 73.0%   | —<br>※2  |
|     |                                            | 千葉県学力状況調査   |       |               |       |       |       |         |         |          |
| 10  | 地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合【主観指標】 | 小6          | 46.1% | 48.0%         | —     | 42.7% | 50.2% | 53.9%   | —<br>※1 | —<br>※2  |
|     |                                            | 中3          | 32.3% | 35.0%         | —     | 30.4% | 37.6% | 37.8%   | —<br>※1 | —<br>※2  |
|     |                                            | 全国学力・学習状況調査 |       |               |       |       |       |         |         |          |

※1 休校措置により「全国学力・学習状況調査」、「千葉県学力状況調査」を実施していないため、R1末実績値、R2末実績値は把握できません。

※2 主観指標であるため、目標に対する達成率での評価は行いません。また、成果指標No.9については、中間見直しにより指標を変更した項目であるため最終目標は設定されていません。

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                          | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、児童生徒が将来の夢や希望を持つことにつながるよう、「道徳」「生活科」「総合的な学習の時間」等に注力し、個々の児童生徒の実態に応じた「わかる授業」や「キャリア教育」、「進路指導」の充実を推進していきます。</li> </ul>                                                                       |
| 9   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の力に合った挑戦を励まし認める指導を推進しています。</li> <li>・さらに、見通しを持たせることや、「やってみよう」という主体的な気持ちの醸成を促すような、個々の目標に沿ったスモールステップでの支援が必要です。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、学校生活全体を通して、各自が目標を持って日々の課題に取り組むとともに、それぞれの児童生徒の力に合った、主体的に挑戦する気持ちを称賛し、高め、励まし、認める指導を推進します。</li> </ul>                                                                                      |
| 10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では、地域に関することを学ぶ機会を生かして地域と連携した活動の充実を図っていきます。また、中学校では、地域と連携した学びの機会を多く設定していきます。</li> <li>・地域の施設を利用したり地域の人から学んだりしながら、地域のよさや多くの人と関わり合うことのよさを実感し、社会に関心を持ち視野を広げていけるような学びの機会を創出していきます。</li> </ul> |

教育改革推進課、教育指導課、保健体育課、選挙管理委員会、こども企画課

| No. | 事業名                | 新規・拡充<br>項目、継続 | 当初                            | 目標                   | 実績    |      |                            |             |                                         |    | 進捗<br>状況 |
|-----|--------------------|----------------|-------------------------------|----------------------|-------|------|----------------------------|-------------|-----------------------------------------|----|----------|
|     |                    |                | H27末                          | R3末<br>(最終目標)        | H28末  | H29末 | H30末                       | R1末         | R2末                                     |    |          |
| 1   | 社会ニーズに応じたキャリア教育の推進 | 支援体制の構築        | 検討                            | 産学官連携事業の展開           | ・指針策定 | 継続   | ・協議会の設置                    | 継続          | 継続                                      | 順調 |          |
|     |                    | 教育内容の充実        | 指導計画の検討                       | 学習活動の展開              | 継続    | 継続   | 教員用ガイドブック作成                | 継続          | 「キャリアアップ能力育成のための教員用キャリア教育ガイドブック」を作成し、配付 | 順調 |          |
| 2   | 移動教室の実施            | 継続             | 継続                            | 継続                   | 継続    | 継続   | 継続                         | 継続          | —                                       | 休止 |          |
| 3   | 農山村留学の実施           | 継続             | 継続                            | 継続                   | 継続    | 継続   | 継続                         | 継続          | 継続                                      | 順調 |          |
| 4   | 自然教室の実施            | 継続             | 継続                            | 継続                   | 継続    | 継続   | 継続                         | 実施場所を変更して継続 | —                                       | 休止 |          |
| 5   | 子ども議会              | 継続             | 継続                            | 継続                   | 継続    | 継続   | 継続                         | 継続          | —                                       | 休止 |          |
| 6   | 小・中学生の社会参画意識の育成    | 小学校模擬選挙        | 16校                           | 18校                  | 16校   | 18校  | 19校                        | 21校         | 16校                                     | 順調 |          |
| 7   | 生徒会交流会             | 継続             | 継続                            | 継続                   | 継続    | 継続   | 継続                         | 継続          | 継続                                      | 順調 |          |
| 8   | 高校生の社会参画意識の育成      | 政治的教養の育成       | ・副読本等を活用した授業の実施<br>・選挙事務従事の実施 | ・授業の継続<br>・選挙事務従事の継続 | 継続    | 継続   | ・年間指導計画の位置付け<br>・選挙事務従事の拡充 | 継続          | 年間指導計画の位置付け                             | 順調 |          |
| 9   | こども・若者のワークショップ     | 継続             | 継続                            | 継続                   | 継続    | 継続   | 継続                         | 継続          | 継続                                      | 順調 |          |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 今後の取り組み等                                                                                                                                                                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身を見つめ直した上で目標（なりたい姿）を描き、振り返りをしながら学習していくための「キャリア・パスポート」を活用した好事例をキャリア教育主任研修会で共有しました。</li> <li>・支援体制構築のため、千葉市や労働局と連携したことで、学校訪問にご協力いただく企業や職種が増えました。</li> <li>・児童生徒のニーズに応じ、企業・団体、産業系専門高校等の学校訪問を実施することで、キャリア教育の充実を図りました。</li> <li>・東京情報大学との共同研究で「キャリアプランニング能力育成のための教員用キャリア教育ガイドブック」を作成し、市内小中学校に配付しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との共同研究の中で、キャリア教育で資質・能力を育成するための手立てについて検証していきます。</li> <li>・千葉市や労働局と連携し、学校訪問にご協力いただく企業・団体等をさらに拡充します。</li> </ul>                                                               |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言、休校措置に伴い、移動教室は中止しました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、ガイドラインに基づいて内容等を工夫して実施します。</li> <li>・複数校が同時期に実施するため、収容人数を確認して組み合わせを決めます。また、毎年の実施時期が偏らないようにローテーションを組んで進めていきます。</li> </ul>                         |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の自然の家等で実施しました。豊かな自然の中で様々な体験活動を行うことで、地域の人や仲間との関わりを通じた思いやりの心や社会性が育つとともに、千葉市のよさを再確認することができました。コロナ禍のため、1泊2日に短縮しての実施も見られました。</li> </ul>                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア発達の視点や保護者や学校負担などの視点から、これまで3泊4日の場合に実施してきた民泊を2泊3日の場合にも可能とし、各学校が取り組みやすいよう見直します。</li> </ul>                                                                                  |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。</li> <li>・令和元年度より、国立赤城青少年交流の家、国立那須甲子青少年自然の家にて2泊3日で実施しています。平成30年度まで実施していた高原千葉村での活動と同様に、豊かな自然を体験するとともに、友達と寝食を共にすることで、より人間的なふれあいが深まり、協力や協調の大切さ、責任感、実行力等が身につきました。</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度と同じ施設を利用して実施します。令和元年度の施設利用や体験活動を実施しての経験を活かし、計画を立てています。学校のプログラムに合わせた現地調査、食物アレルギー対応、新型コロナウイルス感染症対応等、利用施設との連携を密にして実施します。また、これまでの実施の効果をまとめ、今後の実施の方針について検討していきます。</li> </ul> |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言、休校措置に伴い、子ども議会は中止しました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの視点を大切にし、子どもならではの発想を生かした事業運営に努めます。</li> <li>・オンラインでの学習会を実施するなど、新型コロナウイルス感染防止に配慮して実施します。</li> </ul>                                                                        |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                              | 今後の取組み等                                                                                                                           |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>選挙管理委員会と千葉県弁護士会・市内大学との連携により模擬選挙を実施し主権者教育の充実を図りました。</li> <li>令和2年度は21校での実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により、5校が中止したため16校で実施しました。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、選挙管理委員会と千葉県弁護士会・市内大学と連携した模擬選挙を実施するとともに、関係機関と連携しながら小・中それぞれの段階で政治意識の醸成を図ります。</li> </ul> |
| 7   | <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期の交流会は実施できませんでしたが、後期の交流会はオンラインで実施しました。</li> <li>生徒会役員同士で情報交換を行うことで、互いにより刺激を受けるとともに、自信をもって各校で活動を進められました。</li> </ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>市長など、多くの社会人との接点をもたせ、広い視野と純粋な視点を持ちながら、生徒会活動の発展に貢献するよう促していきます。</li> </ul>                    |
| 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>公民科「政治・経済」の「民主主義の基本原則と日本国憲法」の単元において、年間指導計画へ位置付け、主権者教育を実施しています。</li> <li>将来を担う子供たちに早い段階から民主主義の重要性やその根幹をなす選挙の役割などを知ってもらい、若年層の政治への関心や投票に対する意識を高める取組みとして、一定の成果を上げています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>選挙権が18歳から与えられたことや、成年年齢が18歳に引き下げられることについて、その意義を理解させ、社会に参画する意識を持たせる指導を行います。</li> </ul>       |
| 9   | <ul style="list-style-type: none"> <li>年4テーマ、全20回のワークショップを実施し、延べ248人の小中学生が参加をしました。</li> <li>子ども・若者に社会参画の機会を提供し、子どもたちの意見を市政やまちづくりに反映させることで、自分が住む千葉市や社会に対する考えを深め、地域をよりよくしようとする姿勢を身に付けることが期待できます。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所の各課と連携を図りながら、子ども・若者のカワークショップを今後も継続的に実施します。</li> </ul>                                   |

### 3 健やかな体を育てる

#### 3-1 心身の健康の保持増進

- 生涯にわたって自ら健康で安全な生活を営む力の育成に向けて、病気やけがの予防、心の健康、薬物乱用などに関する正しい知識の習得をはじめとする学校保健の充実とともに、家庭との連携を図り、適切な生活習慣の確立を図ります。
- 本市の学校教育における魅力の一つである学校給食を「生きた教材」として活用し、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせる食育を推進します。

保健体育課

| No.             | 指標                       | 項目        | 当初    | 目標            | 実績    |       |       |       |       | 達成状況 |
|-----------------|--------------------------|-----------|-------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|                 |                          |           | H27末  | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末  | H30末  | R1末   | R2末   |      |
| 11              | 朝食を必ず食べる児童生徒の割合          | 小         | 90.8% | 100.0%        | 89.6% | 90.1% | 89.7% | 90.3% | 89.1% | ×    |
|                 |                          | 中         | 87.6% | 100.0%        | 87.1% | 87.9% | 86.5% | 87.3% | 85.6% | ×    |
| 千葉県教育委員会保健体育課調べ |                          |           |       |               |       |       |       |       |       |      |
| 12              | 12歳児(中学1年生)で、むし歯のない生徒の割合 |           | 67.3% | 75.0%         | 68.4% | 69.4% | 70.2% | 71.9% | 73.6% | ○    |
|                 |                          | 千葉県学校保健統計 |       |               |       |       |       |       |       |      |

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                                                                       | 今後の取組み等                                                                                                                          |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11  | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29、30 年度に実施した栄養教諭による「朝食」をテーマにしたモデル授業や研修を通して、朝食の重要性への意識は高まっていますが、目標の達成には至りませんでした。週 1～3 日食べない児童生徒が 1.7% いるため、家庭との連携をさらに深めた取組みが必要です。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校ごとに、生活リズムと関連させた指導を学校教育全体で継続して行い、家庭との連携を密にし、朝食を毎日食べる児童生徒を育てられるよう取り組んでいきます。</li> </ul>    |
| 12  | <ul style="list-style-type: none"> <li>むし歯のない生徒の割合は年々高くなっています。</li> <li>令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、口腔衛生指導を実施できない学校では、養護教諭による歯みがき指導などを実施しました。今後も、児童生徒が口腔衛生の重要性を学ぶとともに、適切な歯みがき方法を習得する機会を得られるよう取り組みます。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校からの指導に対する感想・意見を適切に把握し、指導方法の改善を図ります。また、健康教育に使用する物品を各学校に貸し出すなど、歯みがき指導の支援を行います。</li> </ul> |

保健体育課

| No. | 事業名                          | 新規・拡充<br>項目、継続   | 当初   | 目標                   | 実績                                           |                                             |                                          |                      |      |          |
|-----|------------------------------|------------------|------|----------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------|----------------------|------|----------|
|     |                              |                  | H27末 | R3末<br>(最終目標)        | H28末                                         | H29末                                        | H30末                                     | R1末                  | R2末  | 進捗<br>状況 |
| 1   | 健康教育<br>の充実                  | リーフレ<br>ット配付     | 検討   | 改訂                   | 各部で実践を<br>しているが、リ<br>ーフレットの<br>作成について<br>検討中 | リーフレット<br>作成に向け、各<br>部の取り組み<br>内容について<br>整理 | 作成                                       | 活用                   | 活用   | 順調       |
| 2   | 歯と口の<br>健康づく<br>りの推進         | 啓発方<br>法等の<br>改善 | —    | 改善され<br>た啓発方<br>法の実施 | 継続                                           | 継続                                          | 各種デー<br>タ分析<br>ワーキン<br>ググルー<br>プより提<br>言 | 改善され<br>た啓発方<br>法の実施 | 継続   | 順調       |
| 3   | 学校給<br>食・食育<br>の充実           | 継続               | 継続   | 継続                   | 継続                                           | 継続                                          | 継続                                       | 継続                   | 継続   | 順調       |
| 4   | こてはし<br>学校給食<br>センター<br>の再整備 | 継続               | 継続   | 継続                   | 継続                                           | 供用開始                                        | 継続稼働                                     | 継続稼働                 | 継続稼働 | 達成       |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                   | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度に千葉県学校保健会と連携して作成した「子どもの健康を守る専門家派遣事業」のリーフレットを活用し、健康教育を推進しました。</li> <li>令和 2 年度の「子どもの健康を守る専門家派遣事業」については、新型コロナウイルス感染の影響により募集時期が遅れたため、昨年度より実施校が減少しました。<br/>(令和元年度 19 校→令和 2 年度 7 校)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットを小中特別支援学校に配付し、事業を促進していくことで、健康教育の充実を図ります。</li> </ul>                                                                                                                      |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>歯と口の健康づくり啓発事業については、千葉県歯科医師会とのワーキンググループにおいて、様々なデータの分析や啓発事業実施校からの意見の共有などを行いました。</li> <li>また、令和 2 年度は、千葉県歯科医師会と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、啓発事業を行いました。</li> </ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県歯科医師会とのワーキンググループを引き続き実施し、歯と口の健康づくり啓発事業の実施方法や授業内容の改善について、引き続き検討していきます。</li> </ul>                                                                                            |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての小中学校において、「食に関する指導の全体計画」を作成し、給食の時間はもとより、生活科や家庭科等の教科においても各教科の特性を生かした指導を取り入れ、学校教育全体の中で食育を進めました。</li> <li>食育とオリンピック・パラリンピック教育を関連づけて、学校給食で「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会応援メニュー」を実施しました。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭等が食育推進者として、「食に関する指導の全体計画」に基づき、学校だけでなく、家庭や地域と連携した食育活動を推進していきます。</li> <li>学校給食での「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会応援メニュー」は、2021 年の大会開催まで、オリンピック・パラリンピックにちなんだ献立を実施する予定です。</li> </ul> |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年 4 月に供用を開始し、令和 2 年度については、花見川区を中心とした中学校 14 校に給食を提供しました。</li> </ul>                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な学校給食を安定的に提供していきます。</li> </ul>                                                                                                                                             |

## 3-2 体力の向上

- ▶ スポーツの魅力や楽しさを感じる機会を創出することにより、生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、自ら積極的に心身の健康と体力の向上を図る資質や能力をはぐくみます。
- ▶ 本市の子どもの体力が全国平均以上の傾向を維持し、さらに向上するように、学校行事や運動部活動を含めた教育活動全体を通じて、学校体育の充実を図ります。

保健体育課

| No.               | 指標                                          | 項目   | 当初目標  |               | 実績    |        |        |        |         | 達成状況 |
|-------------------|---------------------------------------------|------|-------|---------------|-------|--------|--------|--------|---------|------|
|                   |                                             |      | H27末  | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末   | H30末   | R1末    | R2末     |      |
| 13                | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、各学年・男女別・種目で全国平均を上回る割合 | 小男子  | 81.2% | 95.8%         | 70.8% | 75.0%  | 75.0%  | 75.0%  | —<br>※1 | —    |
|                   |                                             | 小女子  | 93.7% | 100.0%        | 91.7% | 75.0%  | 75.0%  | 62.5%  | —<br>※1 | —    |
|                   |                                             | 中男子  | 58.3% | 75.0%         | 37.5% | 87.5%  | 87.5%  | 87.5%  | —<br>※1 | —    |
|                   |                                             | 中女子  | 58.3% | 87.5%         | 75.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | —<br>※1 | —    |
| 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 |                                             |      |       |               |       |        |        |        |         |      |
| 14                | 1週間の総運動時間が60分以上の割合                          | 小5男子 | 94.6% | 96.7%         | 94.6% | 93.8%  | 93.6%  | 92.9%  | —<br>※1 | —    |
|                   |                                             | 小5女子 | 89.6% | 94.5%         | 90.3% | 89.6%  | 87.6%  | 87.7%  | —<br>※1 | —    |
|                   |                                             | 中2男子 | 91.6% | 92.7%         | 92.7% | 93.0%  | 93.3%  | 92.9%  | —<br>※1 | —    |
|                   |                                             | 中2女子 | 80.5% | 84.5%         | 80.6% | 82.5%  | 80.2%  | 79.7%  | —<br>※1 | —    |
| 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 |                                             |      |       |               |       |        |        |        |         |      |

※1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施していないため、R2末実績値は把握できません。

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                                         | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の体力向上の取組みをさらに充実させるため、教科主任を対象とした研修会等で、各学校の具体的な取組みを紹介します。特に小学校のソフトボール投げについては、学習指導要領の改訂により、陸上運動系の学習の中で、遠投能力の向上を意図して「投の運動(遊び)」を加えて指導できるようになったことから、体育学習における投げ方の技能向上を目指した指導を取り上げます。</li> </ul> |
| 14  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施していないことから、令和2年度末実績値の把握ができないため、達成状況を確認できません。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子児童生徒や、運動をあまり好まない児童生徒も、興味をもって楽しく運動に取り組めるように、体育・保健体育の学習を工夫・改善するとともに、運動機会の設定などを検討していきます。</li> </ul>                                                                                          |

保健体育課

| No. | 事業名                                                 | 新規・拡充<br>項目、継続                             | 当初                        | 目標             | 実績                                                                       |                                                                       |               |                |                |    | 進捗<br>状況 |
|-----|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------|----------------|----------------|----|----------|
|     |                                                     |                                            | H27 末                     | R3 末<br>(最終目標) | H28 末                                                                    | H29 末                                                                 | H30 末         | R1 末           | R2 末           |    |          |
| 1   | 運動習慣<br>を身に付<br>けるため<br>の取組み                        | 運動習<br>慣定着に<br>向けた取<br>組み                  | 各学校で<br>独自の取<br>組みを実<br>施 | 全校実施           | 体育・保健体育<br>におけるオリ<br>パラ教育検討<br>委員会の設置<br>について検討<br>各学校で独自<br>の取組みを実<br>施 | 体育・保健体育<br>におけるオリ<br>パラ教育検討<br>委員会の設置<br>モデル校(小中<br>各7校)でモデ<br>ル授業を実施 | 全校実施          | 全校実施           | 全校実施           | 達成 |          |
| 2   | アスリート<br>交流事業                                       | 小学校に<br>おける障<br>害者アス<br>リートと<br>の交流        | 実施率：<br>6%                | 延べ実施<br>率：100% | 延べ実施<br>率：22%                                                            | 延べ実施<br>率：36%                                                         | 延べ実施<br>率：72% | 延べ実施<br>率：100% | 延べ実施<br>率：100% | 達成 |          |
|     |                                                     | 千葉ロッ<br>テマリー<br>ンズベー<br>スボール<br>チャンピ<br>オン | 年間：<br>20校                | 年間：<br>26校     | 年間：<br>15校                                                               | 年間：<br>15校                                                            | 年間：<br>20校    | 年間：<br>26校     | 年間：<br>13校     | 遅れ |          |
|     |                                                     | ジェフユ<br>ナイテッ<br>ド市原・<br>千葉おと<br>どけ隊        | 年間：<br>93校                | 年間：<br>95校     | 年間：<br>94校                                                               | 年間：<br>94校                                                            | 年間：<br>92校    | 年間：<br>95校     | 年間：<br>35校     | 遅れ |          |
| 3   | 体力・運<br>動能力調<br>査、県運<br>動能力<br>証、市運<br>動能力検<br>定の実施 | 継続                                         | 継続                        | 継続             | 継続                                                                       | 継続                                                                    | 継続            | 継続             | 継続             | 順調 |          |
| 4   | 小学校各<br>種体育大<br>会の開催                                | 継続                                         | 継続                        | 継続             | 継続                                                                       | 継続                                                                    | 継続            | 継続             | 継続             | 順調 |          |
| 5   | 中学校運<br>動部活動<br>指導者の<br>派遣                          | 継続                                         | 継続                        | 継続             | 継続                                                                       | 継続                                                                    | 継続            | 継続             | 継続             | 順調 |          |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                        | 今後の取組み等                                                                                                                                                                      |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に引き続き、市立全小中学校の体育・保健体育の授業において、パラスポーツを実践しました。</li> </ul>                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 オリンピック・パラリンピック終了後も、市立全小中学校の体育・保健体育の授業において、パラスポーツを実施します。</li> </ul>                                                            |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「障害者アスリートとの交流」については、順調に実施校を拡大し、令和元年度までに全校への訪問を達成しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、令和元年度より実施校数は減少したものの19校で実施しました。</li> <li>「ベースボールチャレンジ」、「おとどけ隊」については、緊急事態宣言等のため、予定より実施校数は減少したものの可能な限り実施することができました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「障害者アスリートとの交流」については、引き続き実施します。</li> <li>「ベースボールチャレンジ」、「おとどけ隊」については、関係機関にさらに実施校を増やすよう働きかけていくとともに、それぞれとの連絡・調整をより一層密に行っていきます。</li> </ul> |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>体力・運動能力調査、県運動能力証は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりましたが、市運動能力検定は実施し、児童生徒一人ひとりが自分の体力を知るとともに、体力向上に向けた意識を高めることができました。</li> </ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続し、児童生徒の体力を高めるための一助としていきます。</li> </ul>                                                                                            |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校体育の発表の場として、「陸上大会」を実施しました。なお、「表現運動発表会」、「球技大会」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。</li> </ul>                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら各種体育大会を継続して実施し、児童の運動へのかかわりを深めながら、運動により親しませるとともに、他校との体育活動の交流を通して、心身の健全な発達と児童相互の望ましい人間関係の育成を図っていきます。</li> </ul> |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>運動部、文化部ともに、中学校部活動指導者の専門的な技術指導により、部活動の充実が図られるとともに、専門以外の顧問の負担を軽減することができました。</li> </ul>                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の充実及び教職員の負担軽減を図るため、今後も専門的な知識や技能などを有する指導者を中学校へ派遣していきます。</li> </ul>                                                                  |

## 4 子どもの学びを支える環境を整える

### 4-1 安全・安心な教育環境の確保

- ▶ 子どもの学習・生活の場として、安全で安心な環境であり続けるために、学校施設・設備の一層の充実を図るとともに、地域の避難場所であるという側面も考慮し、安全に配慮した防災機能の強化を進めます。
- ▶ 安全・安心な学校づくりに向けて、登下校時の安全管理や事故、災害、不審者の発生等の緊急時における危機管理体制を確立するとともに、家庭・地域・関係機関との連携・協働をより一層高めます。
- ▶ 危険に際して自らの安全を守り抜くための「主体的に行動する力」を育成するとともに、共助・公助の視点から安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高めるため、学校安全に関する教育の充実を図ります。

学事課

| No.           | 指標                                       | 当初                 | 目標            | 実績            |               |               |              |              | 達成状況    |
|---------------|------------------------------------------|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------|
|               |                                          | H27末               | R3末<br>(最終目標) | H28末<br>(実績値) | H29末<br>(実績値) | H30末<br>(実績値) | R1末<br>(実績値) | R2末<br>(実績値) |         |
| 15            | 登下校時の見守りなど地域の人の関わりが多いと感じる市民の割合<br>【主観指標】 | —                  | —<br>※1       | —             | —             | 22.9%         | —<br>※2      | —<br>※2      | —<br>※1 |
| 千葉市まちづくりアンケート |                                          |                    |               |               |               |               |              |              |         |
| 16            | 学校セーフティウォッチャーの登録者数                       | 26,855人<br>(26年度末) | 30,000人       | 26,469人       | 25,800人       | 26,265人       | 25,149人      | 24,341人      | ×       |
| 千葉市教育委員会学事課調べ |                                          |                    |               |               |               |               |              |              |         |

※1 主観指標であるため、目標に対する達成率では評価しません（中間見直しにより指標を変更した項目であるため最終目標は設定されていません）。

※2 千葉市まちづくりアンケート未実施のため、R1末実績値、R2末実績値は把握できません。

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                               | 今後の取組み等                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティウォッチ活動は定着しつつあり、すべての学校区において日常的に見守り活動が実施されています。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を中心に、教員、保護者、地域が協力して、人材の確保、情報共有体制の確立、安全マップの作成等に取り組みます。</li> </ul> |
| 16  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者の増加には至っていませんが、保護者・地域協力者の協力により、各学校区で安全な登下校が行われています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や地域の団体に参加を呼び掛けるなど、セーフティウォッチャーを増やす取組みを継続していきます。</li> </ul>      |

学校施設課、学事課、健全育成課、保健体育課

| No. | 事業名                          | 新規・拡充<br>項目、継続                             | 当初    | 目標             | 実績            |               |               |              |              | 進捗<br>状況 |
|-----|------------------------------|--------------------------------------------|-------|----------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|----------|
|     |                              |                                            | H27 末 | R3 末<br>(最終目標) | H28 末<br>(実績) | H29 末<br>(実績) | H30 末<br>(実績) | R1 末<br>(実績) | R2 末<br>(実績) |          |
| 1   | 学校施設<br>の環境整<br>備(老朽<br>化対策) | 外壁改<br>修                                   | 11.3% | 44.7%          | 21.3%         | 26.0%         | 30.3%         | 36.8%        | 44.0%        | 順調       |
|     | 大規模<br>改修                    | —                                          | —     | 20.4%          | 0.0%          | 1.3%          | 3.3%          | 7.2%         | 11.2%        | 順調       |
| 2   | 学校防犯<br>対策の推<br>進            | 学校防<br>犯カメラ<br>システム<br>の設置                 | 37.4% | 65.0%          | 39.2%         | 41.5%         | 46.8%         | 52.6%        | 60.2%        | 順調       |
| 3   | 学校セー<br>フティウオ<br>ッチの推<br>進   | 継続                                         | 継続    | 継続             | 継続            | 継続            | 継続            | 継続           | 継続           | 順調       |
| 4   | こども110<br>番のいえ               | 継続                                         | 継続    | 継続             | 継続            | 継続            | 継続            | 継続           | 継続           | 順調       |
| 5   | 学校安全<br>に関する<br>教育の充<br>実    | 小・中学<br>校におけ<br>るプライ<br>ンド型避<br>難訓練<br>の実施 | 63.0% | 80.0%          | 67.7%         | 69.7%         | 71.1%         | 71.5%        | 59.3%        | 遅れ       |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                           | 今後の取組み等                                                                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>第3次実施計画に基づき実施されています。</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化基本計画に基づき、優先順位について見直しを実施したうえで、計画的に工事を進めます。</li> </ul>                                                                               |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は10校で設置し、最終目標に向けて順調に進んでいます。</li> </ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も引き続き、計画的に設置していきます。</li> </ul>                                                                                                       |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての学校において、登下校時の見守り活動が継続されており、事故防止に貢献しています。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールガード・アドバイザーの活用により、学校のセーフティウォッチ活動の活性化を図ります。</li> </ul>                                                                               |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の周知等の取組みを行った結果として、令和2年度の登録件数は9,107件（うち新規登録310件）でした。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き各中学校区青少年育成委員会を中心に地域に対し登録依頼をするとともに、地域の子どもたちに「こども110番のいえ」の周知を行います。</li> </ul>                                                        |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校措置等のため、実施校数は減少しました。今後も安全指導主任会や研修等で積極的に周知し、実施率の向上を図ります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全指導主任会や研修会等において、状況に応じた判断をする教育の必要性や、その一環としてブラインド型訓練があることを説明します。また、感染症対策を施したうえでの実施方法を周知します。さらに、実施していない学校へ個別に連絡をし、実施率向上に努めます。</li> </ul> |

## 4-2 魅力ある学校づくりの推進

- 良好で質の高い学びを実現する教育環境を目指し、児童生徒が日常の大半を過ごす学校施設の環境整備や教材・教具等の充実を進めます。
- 少子化の進展に伴い、本市においても小・中学校とともに本格的な児童生徒の減少時代を迎えるにあたり、良好な教育環境を整え、教育の質の向上を図るために、学校規模の適正化に取り組むとともに、規模に応じた適切な支援を進めます。
- 子どもの成長に応じた質の高い学びに向けて、幼保・小・中・高と各学校段階間の円滑な連携・接続を推進するとともに、学びの連続性を重視した体系的な教育を進めます。

### 教育指導課

| No.           | 指標                                       | 当初   | 目標            |      | 実績   |       |         |         | 達成状況    |
|---------------|------------------------------------------|------|---------------|------|------|-------|---------|---------|---------|
|               |                                          | H27末 | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末 | H30末  | R1末     | R2末     |         |
| 17            | 子どもが小中学校で充実した教育を受けられると感じる市民の割合<br>【主観指標】 | —    | —<br>※1       | —    | —    | 61.3% | —<br>※2 | —<br>※2 | —<br>※1 |
| 千葉県まちづくりアンケート |                                          |      |               |      |      |       |         |         |         |

※1 主観指標であるため、目標に対する達成率では評価しません（中間見直しにより指標を変更した項目であるため最終目標は設定されていません）。

※2 千葉県まちづくりアンケート未実施のため、R1末実績値、R2末実績値は把握できません。

| No. | 達成状況に対する説明                                                                                          | 今後の取組み等                                                                                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 17  | ・千葉県学校教育の課題「21世紀を拓く」をもとに教育の基本方針を示しています。また、各学校は、学力調査等の結果を分析し、令和元年度に作成した学力向上アクションプランに基づき具体的な実践を行いました。 | ・学力向上アクションプランの実践、検証及び見直しを行い、学力格差の解消や学力向上に向けた取組みを行います。また、各学校の実態に応じて学びを止めないためのオンライン学習の基盤づくりを進めるとともに、家庭学習の推進に向けた取組みを実施します。 |

学校施設課、企画課、教育指導課、教育改革推進課、幼保支援課、幼保運営課

| No. | 事業名                         | 新規・拡充<br>項目 継続                                     | 当初                                   | 目標                                            | 実績                                        |                                            |                                                      |                                                          |                                                    |          |
|-----|-----------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------|
|     |                             |                                                    | H27末                                 | R3末<br>(最終目標)                                 | H28末                                      | H29末                                       | H30末                                                 | R1末                                                      | R2末                                                | 進捗<br>状況 |
| 1   | 学校施設<br>の環境整<br>備(質的<br>整備) | トイレ改修                                              | —                                    | 66.6%                                         | 3.4%                                      | 14.9%                                      | 26.0%                                                | 31.7%                                                    | 42.5%                                              | 遅れ       |
|     |                             | 音楽室<br>等エアコ<br>ン整備                                 | —                                    | 小学校<br>100%<br>中学校・<br>100%<br>特別支援学校<br>100% | 小学校<br>0%<br>中学校<br>50%<br>特別支援学校<br>100% | 小学校<br>0%<br>中学校<br>100%<br>特別支援学校<br>100% | 小学校<br>26.1%<br>中学校<br>100%<br>特別支援学校<br>100%        | 小学校<br>100%<br>中学校<br>100%<br>特別支援学校<br>100%             | 小学校<br>100%<br>中学校<br>100%<br>特別支援学校<br>100%       | 達成       |
|     |                             | 普通教室<br>へのエア<br>コン整備                               | —                                    | 小学校<br>100%<br>中学校<br>100%                    | —                                         | —                                          | —                                                    | 小学校<br>100%<br>中学校<br>78.2%                              | 小学校<br>100%<br>中学校<br>100%                         | 達成       |
| 2   | 学校適正<br>配置の推<br>進           | 適正配<br>置の推<br>進                                    | 1地区の<br>協議継続<br>花見川統<br>合小学校<br>開校準備 | 千城台地<br>区統合小<br>学校2校<br>開校                    | 開校準備<br>完了                                | 千城台旭<br>小と南小<br>の統合決<br>定<br>花見川小<br>学校開校  | 1地区の<br>協議終了<br>(千城台)<br>2地区の<br>協議開始<br>(大宮・高<br>洲) | 2地区の<br>協議終了<br>(大宮・<br>高洲)<br>千城台わ<br>かば小開<br>校準備完<br>了 | 大宮小、<br>千城台み<br>らい小、<br>高洲中開<br>校準備完<br>了          | 順調       |
|     |                             | 適正配<br>置実施<br>方針の<br>見直し                           | 準備・検<br>討                            | 第3次学<br>校適正規<br>模・適<br>正配置実<br>施方針の<br>運用     | 準備・検<br>討                                 | 準備・検<br>討                                  | 第3次学<br>校適正配<br>置実施方<br>針策定                          | 第3次学<br>校適正配<br>置実施方<br>針の運用                             | 第3次学<br>校適正配<br>置実施方<br>針の運用                       | 達成       |
| 3   | 学校適正<br>配置に伴<br>う施設改<br>修   | 統合に伴う<br>施設改修                                      | 10校                                  | 13校                                           | 11校<br>78.57%                             | 11校<br>78.57%                              | 11校<br>78.57%                                        | 11校<br>78.57%                                            | 13校<br>100%                                        | 達成       |
|     |                             | 跡施設解<br>体・整備                                       | 2校                                   | 6校                                            | 4校<br>80%                                 | 5校<br>100%                                 | 5校<br>100%                                           | 5校<br>100%                                               | 6校<br>100%                                         | 達成       |
| 4   | 幼保小連<br>携・接続<br>の推進         | 継続                                                 | 継続                                   | 継続                                            | 継続                                        | 継続                                         | 継続                                                   | 継続                                                       | 継続                                                 | 順調       |
| 5   | 小中一貫<br>教育の推<br>進           | 小中一<br>貫教育<br>のモデル<br>事業                           | 研究指定<br>(小中連<br>携)                   | 小中一貫<br>教育モデ<br>ル校の設<br>置                     | 継続                                        | 継続                                         | 継続                                                   | 小中一貫<br>教育モデ<br>ル校の設<br>置                                | 小中一貫<br>教育校の<br>設置<br>小中一貫<br>教育モデ<br>ル校の設<br>置    | 達成       |
| 6   | 中高連携<br>教育の推<br>進           | 継続                                                 | 継続                                   | 継続                                            | 継続                                        | 継続                                         | 継続                                                   | 継続                                                       | 継続                                                 | 順調       |
|     |                             | 市立稲毛<br>高等学<br>校・同付<br>属中学校<br>の中等教<br>育学校へ<br>の移行 | —                                    | 開設準備                                          | —                                         | —                                          | 千葉市学<br>校教育審<br>議会にお<br>ける審議                         | 稲毛高等<br>学校校舎<br>の劣化度<br>調査実施                             | 千葉市立<br>稲毛国際<br>中等教育<br>学校移行<br>基本方針<br>策定業務<br>委託 | 順調       |

| No. | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                         | 今後の取組み等                                                                                                                                                        |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ改修の進捗については遅れていますが、完了時期を前倒しできるよう工事発注件数の見直しを行い、トイレのドライ化と洋便器化を推進してきました。</li> <li>・音楽室等エアコン整備は、音楽室、図書室及びコンピュータ室へ令和2年3月末に設置が完了しました。</li> <li>・普通教室へのエアコン整備は、令和2年5月末に設置が完了しました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年約20校でトイレ改修を実施することにより、令和6年度までに全校改修済となる予定です。最終目標に対しては順調に進捗しています。</li> <li>・全ての特別教室へのエアコン設置を令和3年度中に完了する予定です。</li> </ul> |
| 2   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・千城台みらい小学校、大宮小学校、高洲中学校の開校に向けた準備が完了しました。</li> <li>・第3次学校適正規模・適正配置実施方針を基に、当該地区で統合準備会を運営するとともに、新たな地区における学校適正配置の検討を進めました。</li> </ul>                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒数推計の動向を注視しながら、第3次学校適正規模・適正配置実施方針に基づき「優先度Ⅰ」となった学校や適正配置の検討が必要な新規地区の学校を訪問して、校長や保護者、地域と意見交換等を進めます。</li> </ul>         |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度末までに施設改修が完了しました。</li> </ul>                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、統合予定となった学校について、施設・設備の改修を行っていきます。</li> </ul>                                                                    |
| 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣幼稚園・保育所等と交流活動を実施し、共通理解を図るとともに、全小学校でスタートカリキュラムを作成し、学校教育への円滑な接続を図りました。</li> </ul>                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小の交流活動の内容の工夫とスタートカリキュラム及びアプローチカリキュラムの改善、双方の意見交換の実施等により、円滑な接続を促していきます。</li> </ul>                                     |
| 5   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年4月から川戸小・中学校を小中一貫教育校に位置付けるとともに、幸町第三小学校・幸町第二中学校、及び更科小学校・更科中学校を小中一貫教育モデル校に位置付けました。</li> <li>・千葉市の小中一貫教育基本方針に基づき、小中一貫教育の進展のための具体的な実践計画を立て、各校の特色に応じた実践をしました。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月から幸町第三小学校・幸町第二中学校、及び更科小学校・更科中学校を小中一貫教育校に位置付けました。</li> <li>・小中一貫教育校運用状況や課題を把握するとともに改善に向けた助言を行います。</li> </ul>      |
| 6   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市立稲毛高等学校・附属中学校の中等教育学校移行に向け、準備を進めました。また、千葉市議会令和3年第1回定例会において、中等教育学校設置条例を制定し、校名を「千葉市立稲毛国際中等教育学校」と決定しました。</li> </ul>                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年4月「千葉市立稲毛国際中等教育学校移行基本計画」を策定しました。</li> <li>・令和4年4月の開校に向けた準備及び大規模改修工事に向け、実施設計等の準備を進めます。</li> </ul>                   |